



## プログラム（登壇者・発表タイトルは予定です）

【午前】平成30年度東北地域 研究発表会 .....（11:00～12:00）

- ・ポスター発表
- ・発表テーマ:ダム、河川等の生態系、水質等に関する研究発表
- ・主な対象者:応用生態工学会の会員、三春町及び周辺の学生、東北地域の研究者

【午後】公開シンポジウム .....（13:00～16:30）

「さくら湖ができて20年でわかったこと」

### ■ 基調講演【13:00～14:20】

「“さくら湖”建設当時の環境に対する思い」

伊藤 寛 氏(元 三春町長)

「ダム湖水質の将来と予防-温暖化と土地利用の視点から-」

占部 城太郎 氏(東北大学大学院生命科学研究科 教授)

「環境DNAを利用した生態系観測-現状と今後の展開-」

近藤 倫生 氏(東北大学大学院生命科学研究科 教授)

### ■ パネルディスカッション【14:30～16:30】

<コーディネーター>

梅田 信 氏(東北大学大学院工学研究科 准教授)

<パネリスト>

(研究者)

木村 文宣 氏((一財)水源地環境センター):三春ダム建設後20年間の水質の変化

中井 克樹 氏(琵琶湖博物館 専門学芸員):「さくら湖」での外来魚問題への取り組み

竹原 明秀 氏(岩手大学人文社会科学部 教授):三春ダムをとりまく植物的自然環境

(さくら湖管理者)

中川 博樹 氏(国土交通省三春ダム管理 所長):「さくら湖」管理者としての環境への取り組み

(自治体関係者代表)

鈴木 義孝 氏(三春町長):「さくら湖」の環境に対する要望

<その他参加者>

伊藤 寛 氏、占部 城太郎 氏、近藤 倫生 氏

※本シンポジウムは建設コンサルタンツ協会CPDプログラム(3.25CPD単位)として認定されました。

### 【会場案内】

三春交流館「まほら」

〒963-7796

福島県田村郡三春町字大町1番地の2

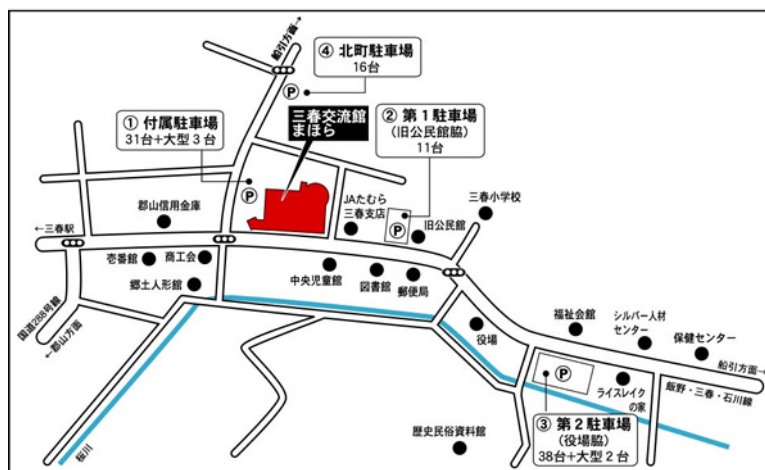
### 【交通案内(JR利用)】

#### ●東京方面から

東北新幹線・郡山駅乗り換え(東京⇄郡山・約80分)→磐越東線・三春駅下車(郡山⇄三春・約13分)

#### ●いわき方面から

常磐線・いわき駅乗り換え→磐越東線・三春駅下車(いわき⇄三春・約90分)



★仙台より往復バスを運行します。乗車を希望する方は申込欄に記入してください

(往路)仙台駅 東口バスプール(発 8:30)

(帰路)三春交流館(発 17:00)